

各 位

会社名 株式会社 テレビ東京ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 小孫 茂
 (コード番号: 9413 東証第1部)
 問合せ先責任者 常務取締役 加増 良弘
 (Tel. 03-3587-3061)
<https://www.txhd.co.jp>

2020 中期経営計画について

当社は、「2020 中期経営計画」を策定しましたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 計数目標

(単位：百万円)

	2020 年度	2021 年度	2022 年度
売上高	140,700	152,000	158,000
営業利益	3,240	5,000	7,500
売上高 営業利益率	2.3%	3.3%	4.7%

2. 基本方針

新たな中期経営計画の初年度となる 20 年度は、インターネットとの競争が一段と激化することに加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響で厳しい収益環境が続くことを前提としています。特にコロナの影響は大きく、タイム・スポット収入は少なくとも上半期はリーマンショック時の 09 年度並みのマイナスとなり、年間を通じても前年度比 9.2%減の 675 億円と過去 30 年の最低レベルとほぼ並ぶと見えています。

厳しい広告市況の下で、コストコントロールを強化し、放送収益の落ち込みを最小限に抑えながら、アニメ・コンテンツ事業やイベント・通販事業の拡充による放送外、放送周縁の事業への展開を強化、グループ全体の力を結集した成長を目指します。特にアニメ事業は 19 年度も過去最高の売上を更新、利益にも大きく貢献しましたが、20 年度以降も中国現地での制作開始などでもう一段の飛躍を見込みます。また、すでに参画を決めている池袋のライブエンターテインメント事業の「Mixalive TOKYO」でも、ライブとネット配信を融合したビジネス展開などを進めていきます。

当社は春先より感染拡大防止の観点から BCP（事業継続計画）体制を取ってきましたが、この間に明らかになった番組作りや働き方の問題点を克服し、「With Corona」の新しい日常に対応していきます。番組制作や営業のあり方、在宅勤務を活用した働き方改革などを進め、企業体質を強化し、生産性向上につながる収益構造改革を進めてまいります。

構造改革が実を結ぶ 21 年度以降へ向けて V 字回復を目指し、計画最終年度には過去最高の売上高・営業利益の達成につなげたいと考えております。

以 上